

| 教科名 | 科目名 | 単位数 | 授業形態 | 系統 | 履修年次 |
|------|------|---------|------|----|------|
| 地理歴史 | 地理探究 | 文系2・理系2 | 選択 | 共通 | 2 |

| | |
|----------|---|
| 教科書（発行所） | 新詳 地理探究（帝国書院） |
| 教科書以外の教材 | 1 新詳 高等地図（帝国書院） 2 新編 地理資料 2024（東京法令出版）1学年より継続で使用 3 データブック オブ・ザ・ワールド（二宮書店） 4 サクシード地理（啓隆社） |

| | |
|-----|---|
| 目 標 | 1 現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し、現代世界の地理的認識を養います。 2 現代世界の諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養います。 3 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養います。 |
|-----|---|

| | 学期 | 学習時期 | 学習事項 | 学習内容 | 考査等 |
|--------|---------|------|---------------------|----------------|-------|
| 学習のねらい | 1 学期 | 4月 | 第1部 現代世界の系統地理的考察 | 1章 自然環境 | 実力考査 |
| | | 5月 | | 2章 資源と産業 | 中間考査 |
| | | 6月 | | 3章 交通・通信と観光，貿易 | 期末考査 |
| | | 7月 | | | 実力考査 |
| | 2 学期 | 9月 | | 4章 人口，村落・都市 | 中間考査 |
| | | 10月 | | | 期末考査 |
| | | 11月 | | | |
| | | 12月 | | | |
| | 3 学期 | 1月 | | 5章 生活文化，民族・宗教 | 実力考査 |
| | | 2月 | | | 学年末考査 |
| | | 3月 | | | |

| | |
|----------------------|---|
| 授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等 | <ul style="list-style-type: none"> ・地理探究の学習では、問題を見つけ、その原因を探り、解決に向けての行動を考えていくことが大切です。ですから、「何がどこにある」をたくさん覚えることだけがゴールではありません。「なぜそこにあるか」について、もの見方や考え方を身につけ、分析や表現の技能を習得することが本当の学力につながります。 ・提出物があるので、事前にスケジュールを立てて取り組み、期限を守って提出してください。 ・教科書だけでなく、資料、地図帳等で「調べる」ことが必要です。受け身ではなく、自ら学ぶ姿勢を持って下さい。 ・授業で学んだことを中心に、地図帳に書き込む習慣を身につけてください。そして、自分だけの地図帳を完成させることで、視野が広がり理解はどんどん深まります。 |
|----------------------|---|

| 評価の観点 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|--|--|---|
| | 地図や統計、画像などを地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けるとともに、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 | 現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的、地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、追究した過程や結果を適切に表現する。 | 現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。 |
| 評価の方法 | 提出物や定期考査、授業に臨む姿勢や意欲及びパフォーマンス評価・自己評価を総合的に評価します。いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力を満遍なく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。 | | |